

～助成金コラム(第 10 回)～



人材開発支援助成金

「事業展開等リスクリング支援コース」はどのような場合に活用できるのか

平素より当所の業務推進につきまして、格別のご理解を賜り厚く御礼申し上げます。今回は、人材開発支援助成金「事業展開等リスクリング支援コース」の活用例を取り上げます。

1、そもそも「事業展開等リスクリング支援コース」はどのような制度か

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練費用や訓練期間中の賃金の一部を助成するものです。令和4年～令和8年度までの期間限定で創設された「事業展開等リスクリング支援コース」の対象となる訓練は、職務に関連する10時間以上のOFF-JTで、以下のいずれかに該当するものです。

- (1) 企業の事業展開にあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識や技能の習得
※事業展開は、新たな分野に進出することのほか、事業や業種の転換や、既存事業の中で製品の製造方法やサービスの提供方法を変更することも含みます。
- (2) 企業内のDX化(デジタルトランスフォーメーション)で必要となる専門的な知識や技能の習得
- (3) 企業内のグリーン・カーボンニュートラル化で必要となる専門的な知識や技能の習得

2、具体的な活用例

- (1) 【事業展開】 運送業(道路貨物運送業)で従業員 25 名の企業の場合
背景: 売上減少傾向であり、運転技術を活用した売上回復策を検討していた。
高齢化が顕著な地区にあり、「福祉タクシー」部門を立ち上げることにした。
訓練内容: 介護・福祉タクシードライバー養成に向けた第二種普通免許取得訓練
- (2) 【事業展開】 飲食業で従業員 30 名の企業の場合
背景: 外食事業を展開していたが、高齢者向けの宅配事業を開始することにした。
訓練内容: 宅配事業の責任者養成に向けたプロジェクトリーダー研修
- (3) 【デジタル・DX】 製造業(酒類製造業)で従業員 20 名の場合
背景: 温度管理の記録を手書きで行っていた。デジタルデータとして自動記録を行うことで業務の効率化を図ることにした。
訓練内容: 製造業のためのDXリスクリング講座(デジタル計測導入の座学と実践)
- (4) 【デジタル・DX】 建設業(設備工事業)で従業員 36 名の場合
背景: 人手不足の中で作業の効率化が求められていた。ドローンを導入し測量や施工管理等の効率化を図ることにした。
訓練内容: ドローン技能講習及び安全運行管理者講習コース
- (5) 【グリーン・カーボンニュートラル化】 農業で従業員 10 名の場合
背景: 農薬散布をエンジン噴霧ではなくドローンを使用し CO2 排出量削減に貢献する
訓練内容: 農業ドローンオペレーター(農業用ドローンの操縦)講習

※厚生労働省のホームページに様々な事例が掲示されています。参考にしてください。